

授業科目名	社会認識教育論
科目番号	CB23071
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春AB秋AB火1
担当教員	唐木 清志
授業概要	学校教育で展開されている社会認識を高めるための教育について、その理論と方法について概説する。具体的には、サービス・ラーニング、多文化教育、まちづくり学習、主権者教育、人権教育などを取り上げる予定である。
備考	対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「2. 教育学の基礎的体系的知識」「3. 教育学における総合的思考力」
授業の到達目標（学修成果）	学校教育で展開されている社会認識を高めるための教育について学び、その理論と方法を理解することができるようになる。
授業計画	<p>学校教育で展開されている社会認識を高める方法について、その理論と方法を概説する。具体的には、シティズンシップ教育とサービス・ラーニングを中心的に取り上げる。なお、授業にはアクティブ・ラーニングの手法を積極的に取り入れる。</p> <p>第1回 現代社会における社会認識教育の必要性(ガイダンス)</p> <p>第2回 社会認識とは何か(1):社会科学者に学ぶ</p> <p>第3回 社会認識とは何か(2):社会科教育者に学ぶ</p> <p>第4回 社会認識とは何か(3):アメリカの事例に学ぶ</p> <p>第5回 社会認識とは何か(4):イギリスの事例に学ぶ</p> <p>第6回 社会認識教育としてのシティズンシップ教育(1):主権者教育</p> <p>第7回 社会認識教育としてのシティズンシップ教育(2):多文化教育</p> <p>第8回 社会認識教育としてのシティズンシップ教育(3):法教育</p> <p>第9回 社会認識教育としてのシティズンシップ教育(4):経済教育</p> <p>第10回 現代社会における社会認識教育の必要性(中間まとめ)</p> <p>第11回 社会認識教育とサービス・ラーニング(1):成立と歴史</p> <p>第12回 社会認識教育とサービス・ラーニング(2):目的と方法</p> <p>第13回 社会認識教育とサービス・ラーニング(1):中学校における実践事例</p> <p>第14回 社会認識教育とサービス・ラーニング(2):高等学校における実践事例</p> <p>第15回 社会認識教育とアクティブ・ラーニング</p> <p>第16回 社会認識教育とカリキュラム・マネジメント</p> <p>第17回 社会認識教育と地域パートナーシップ</p> <p>第18回 社会認識教育と社会的論争問題</p> <p>第19回 社会認識教育と今日の教育改革</p> <p>第20回 現代社会における社会認識教育の必要性(最終まとめ)</p>
成績評価方法	レポート(50%)と毎回提出してもらうミニレポート(50%)から総合的に評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	復習は必ず行うこと。また、適宜調査活動に関わる課題を出す。
教材・参考文献・配付資料等	配布資料等は、manabaを通して配布する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	月曜日 15:00-18:00

その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	ミニレポートの提出は、授業日当日から1週間以内とする。提出期日に遅れないように、提出すること。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	社会認識，サービス・ラーニング，シティズンシップ教育，主権者教育，多文化教育，まちづくり学習